

私のTPS史?

～トヨタに勤務した事ないですが(笑)～

ESD21

平成29年7月26日(水)

東桜会館

ESD21 個人会員 西野直也



はじめに

- ・私は、個人会員です。個人のスキル向上を目的にESD21に入会しました。
- ・会費も自分の財布から出しております。
(今日の交通費は、青春18切符ですw)
- ・勤務先とはwin-winでやりたいと思っています。
でも、ここでの活動は個人活動です。
(勤務先名が出ると、いろいろと事前書類が必要で、、、。)
- ・ご理解頂けると幸いです。

公財) 浜松地域イノベーション推進機構

設立：1981年3月

理事長：山崎 勝康（天方産業株式会社 常勤顧問）

所在地：〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場2丁目7番地1号

基金：985百万円（1,805百万円:2016年 3月）

経常費用：433百万円（2016年度）

事業内容：中小企業の産業支援事業

（広報、相談、企業訪問、研究会事務局受託、人材育成、創業・新事業展開、知財活用推進、オープンイノベーション浜松創出支援、新産業創成、地域イノベーション戦略推進、国等の研究開発事業化支援、競争的資金等獲得支援、はままつ次世代光・健康医療産業創出事業支援、地域産業活性化支援、ものづくり販路開拓支援、浜松地域販路開拓・マッチング支援、海外ビジネス展開支援、地場産業振興）

自己紹介

氏名:西野直也(にしのなおや)

<職歴>

電子部品・電池メーカー (1987年)

- 研究開発・企画・生産革新事務局・製造技術・物流

現職へ転職(2012年)

初の技術系事務職員 サポイン担当等を経て企業支援グループ

<コミュニティ系> 「なおや」

オープンソース系コミュニティ (FLOSS桜山、OSC)

日本Androidの会浜松支部 設立

X IT系の活動 アートフューチャーセンターetc

TPSとの出会い

- ・大学時代から自主ゼミ活動を行っていた。(1981年～)
- ・大先輩が、工場見学に行ったらしく、
「トヨタはムダの排除のためにモノの流れを一直線にする。
みごとにムダ取り。」と説明してくれた。(1985年頃)
- ・電子部品メーカーに就職して、新入社員研修で製造ラインを見たときに、見事な迷路で唖然とした。「なぜ、車は一直線で造るのに、ここは？」と質問したら、車と電子部品(焼き物)は違うとの回答があった。(1987年)
- ・そんな中で10数年後には、生産革新事務局(2000年頃)として、コンサルタントと現場との間でw

出会い

- ・2013年03月22日(金) 19:00-21:00
名古屋アジャイル勉強会
『ソフトウェア技術者のためのトヨタ生産方式(TPS)』講演の夕べ
にて、黒岩恵代表の講演を拝聴
- ・その後、いろいろな案内メールが来てボチボチと参加。
- ・黒岩さんから、「ボチボチ入会せいや〜！」というお言葉をいただき、
2014年(平成26年)6月1日付けで個人会員として入会。
- ・河田先生との出会いを始め、数々の著名人と接することができてとても感謝！

出会い

- ・2011年11月8日(月)13時30分～18時00分
主催 アジャイルプロセス協議会 見積・契約ワーキンググループ
協力 名古屋アジャイル勉強会
『なぜソフト開発にTPS(トヨタ生産方式)なのか
～TPS/アジャイルプロセスの勧め～』にて、黒岩恵代表の講演を拝聴
- ・その後、いろいろな案内メールが来てポチポチと参加。
- ・黒岩さんから、「ポチポチ入会せいや～！」というお言葉をいただき、
2014年(平成26年)6月1日付けで個人会員として入会。
- ・河田先生との出会いを始め、数々の著名人と接することができてとても感謝！

年表

- 1981年 :自主ゼミ活動(自然科学系)
- 1985年頃 :トヨタ生産方式という魔法の杖があると聞かされる
- 1987年 :電子部品・電池メーカーに就職
トヨタ生産方式は、電子部品には不向きと聞かされる
- 2004年頃 生産革新事務局就任
- 2009年 :浜松IT技術者交流会に入会
 - OSC名古屋に浜松IT技術者交流会として出席、Floss桜山へ参加
 - Open Office 勉強会 発足、不発！
- 2011年 :日本Androidの会浜松支部発足
 - 「なぜソフト開発にTPS(トヨタ生産方式)なのか ～TPS/アジャイルプロセスの勧め～」黒岩 恵氏 聴講
- 2012年 : (公財)浜松地域イノベーション推進機構に転職
- 2013年03月22日(金) 19:00-21:00
名古屋アジャイル勉強会『ソフトウェア技術者のためのトヨタ生産方式(TPS)』講演のタペにて、黒岩恵代表の講演を拝聴
- 2014年 :ESD21に個人会員として入会
- 2015年 :わくわくJIT入会
 - 静岡ものづくり革新インストラクタースクール第1期修了(東京大学 藤本先生系ものづくり教室)
- 2016年 :ITコーディネータ合格

仕事の状況

<昨年まで>

- ・土壌を耕す、人づくり、人に楽をさせる、を念頭に生産性向上セミナーなど開催
- ・経産省から「ロボットSler養成講座」の打診→やらない。

<今年度は、、、>

- ・一人屋台の名人によるセミナー&現場指導
- ・ロボット導入講座(コストダウンしましょう)

...

終わりに

- ・私生活でも2Sが苦手ですw
でも、洗濯とか料理とかTPSは役に立ちますww
- ・次は何をしようかな～
Android、組込み、kintone café、Unagi.py復活
- ・ESD21の皆様のご指導、よろしくお願いいたします。

ご静聴ありがとうございました





ありがとうございました。m(__)m



出会い

・2012年9月16日(日)

第46回勉強会「名古屋アジャイル勉強会 in 岐阜」

じゅうろくプラザ 研修室2

【第2部】13:00～16:30 「改善塾」

改善の伝道師 豊田マネジメント研究所の高木徹氏

をお迎えし トヨタ生産方式(TPS)、および、TPS源流とする TMS(Total Management System)について、ご講義頂きました。

・2013年03月22日(金) 19:00-21:00

名古屋アジャイル勉強会

『ソフトウェア技術者のためのトヨタ生産方式(TPS)』講演の夕べ

にて、黒岩恵代表の講演を拝聴

現場指標が経営数字に結びつかない

標準手持ちの設定、在庫の削減

- ⇒損益は向上しない

ライン長を短くする

- ⇒現場の損益は向上しない
- ⇒省人化・・・働く場が無くなる

空きスペースを生み出す

- ⇒現場の損益は向上しない

生産リードタイムの短縮

- ⇒現場の損益は向上しない

出来高管理、不良率管理の見える化

- ⇒手間は増えるけど、、、



ある本との出会い

- ・企画にいたけれど技術屋で会計には素人
- ・社長「黒字化し、棚卸し資産を削減」が事業管理ができないと言っている

棚卸し資産を削減すると一時的に損益が悪化

トヨタ 原点回帰の 管理会計

河田 信

中野剛志 河村温磨 田中弘知 中村哲彦

Toyota Way

Re-industrializing
Management Accounting for
New Age

中央経済社

心がけたこと

- 流れをつくる
 - 説明する
 - 作業者が楽になる事を実感してもらう
 - 指標は、余裕がでてきてから
- 経営者と現場の距離感
 - 経営者に現場に来てもらう
 - 担当者を直接褒めてもらう
- 指揮者のいないオーケストラをイメージしてもらう
 - 自立した業務推進とチームでの目標達成
 - 異常時のアラーム：現場の担当に責任を負わせない
 - 後工程に不良品は送らない
- チームで仕事をしている意識
- 出荷ミス、人に責任を負わせない、仕組みで治す
- 私が居なくても仕事が回る職場づくり

実現出来た事できなかった事

- 実現できたこと

- 作業者が楽になる事を実感してもらい巻き込む(流づくり、人づくり優先)
- 余裕ができてから指標を示す

- 苦労したこと

- 人に責任を負わせない、仕組みで治す

- 残念ながら出来なかったこと

- 営業(受注)改革
- 更なる高度化

後でわかった事

山形大学 柗先生

- 損益と在庫削減
- A社: 納入先が単価を上げてくれた
 - 銀行主導であった
 - 資金繰りが楽になった
- B社: 空きスペースをつくった
 - 工場見学した方から新規受注を獲得
 - 売上が増えた

嬉しかったこと

・「魅せる職場」(退職した後の生産革新担当役員のコラム)

(前略)さて、この「楽しい」という感覚はどこから来るのだろうか？ それはたぶん関わる人たちの放つ輝きだ。本人にとっては生みの苦しみでも、新たな世界へもがきチャレンジする姿が周囲を魅了する。どんな成果も、そのプロセスで「汗」の匂いを感じないものに人は魅了されない。

今回は事業部自主研で僕を魅了した二人についてコメントする。残念なことに二人ともこの3月でグループを去った。

(中略)

もう一人は、中央ターミナルの西野課長。こちらは、与えられた領域で愚直にTPSを展開する姿勢が僕を魅了した。現場を巻き込み、ただ指示するだけでなく自ら実践していく姿勢は、まさに「修就一等」。TPSの理解度も自ら実践するだけあって深い。自主研では言葉巧みにTPS導入を説明する人もいるが、現場を見れば理解度はすぐわかる。物流センターはTPSの導入が難しいが、それでも相当なレベルまで現場を引き上げてもらった。

送別会での西野くんの言葉が印象的でした。

「昔、コンサルタントから改善はまず出荷場からと言われてもその意味が良く分からなかったが、ターミナルに来て初めてその意味が分かった。設計の悪さ、製造の悪さ、会社の悪さがすべて出荷場に出てしまうんですね・・・」

ターミナルだけでは狭すぎるので、西野くんの活躍の場を広げようと画策していた矢先の退職であり残念な限りだ。グループから離れてしまうが、もう一度チャンスがあれば仕事してみたい方々だ。